

---

平成 11 年版 大阪経済白書(第 18 回)の概要

## —新産業分野への挑戦—

---



---

### 【「平成 11 年版大阪経済白書」のポイント】

○大阪において有望な産業分野について、具体的な育成方策を提示しました。

\* 生活・住宅関連分野では、

→地域社会のさまざまな活動主体と企業との協働、連携により、地域コミュニティの再生をはたらきかけ、生活ニーズへ柔軟に対応することが必要。

\* 福祉・医療関連分野では、

→大阪の産業集積と高度医療施設の集積を活かして、新たな市場を創造することが重要。

\* 環境・エネルギー関連分野では、

→環境改善に向けた企業・生活者の責任ある行動と、組織横断的な行政部門の横断的な取り組みにより、循環型地域経済を実現するシステムを形成することが必要。

\* 情報・通信関連分野では、

→地域のあらゆる分野の情報化を推進し、新たな需要を生み出すことが産業の育成につながる。

---

### 【構成】

第1部 新産業分野への挑戦

## 第1章 新産業分野育成の必要性和効果

## 第2章 総合的生活提案産業をめざして — 生活・住宅関連分野育成に向けて

## 第3章 地域産業を活用した生命・健康の維持 — 福祉・医療関連分野育成に向けて

## 第4章 循環型地域経済の構築と産業 — 環境・エネルギー関連分野育成に向けて

## 第5章 情報力強化による地域発展 — 情報・通信関連分野育成に向けて

## 第6章 新産業分野育成のための地域戦略

## 第2部 平成10年の大阪経済参考資料(本編に掲載)

大阪府商工部 平成11年度主要施策体系

大阪府商工関連ホームページ一覧

平成11年度産業サポート・カレンダー

大阪経済の主要統計

---

## 第1部 新産業分野への挑戦 — 経済と社会・環境の新しい関わりを拓く —

大阪経済にとって、産業構造の変革が最大の課題となっているが、そのためには既存の産業分野を再活性化するとともに、新しい有望産業分野を育成する必要がある。大阪経済白書では平成9年版から3か年にわたって、大阪の産業構造変革の可能性と方策を探ってきた。9年版で既存産業分野の再活性化戦略を検討したあと、10年版では、大阪にとって有望かつ積極的な育成が必要な産業分野として、「生活・住宅関連分野」「福祉・医療関連分野」「環境・エネルギー関連分野」「情報・通信関連分野」の4分野を選びだした。今回の11年版は、それら4分野について、それぞれ個別の事業分野にまで視点を下ろし、大阪で育成するための課題と、育成方策を具体的に提起した。

## 第1章 新産業分野育成の必要性和効果

大阪経済が成熟化のなかで活力を保つには、既存の企業をはじめとするさまざまな活動主体が、社会や経済の変化から生まれる新しいニーズと新しい技術が結びついて登場する新しい産業分野に果敢に挑戦することが重要である。大阪には分厚い産業集積をはじめ、そうした分野が成育するための基盤となる地域ポテンシャルが備わっている。

今後の大阪にとって有望と目される4分野は、将来推計においても、雇用規模と市場規模の両面で顕著な成長が予想される。

## 第2章 総合的生活提案産業をめざして — 生活・住宅関連分野育成に向けて

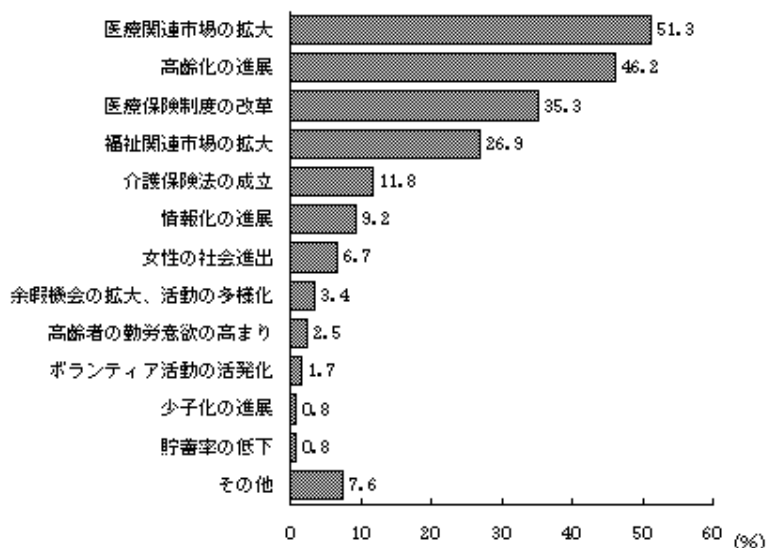
生活におけるニーズは、物質的な豊かさから自己実現と精神的なゆとりと豊かさを求めるものへと変化している。他方で、高齢化の進展、環境問題、資源制約など解決しなければならない問題が生活者を取り巻いている。この生活者一人ひとりの多様なニーズや個別的な問題に応えるために、生活・住宅関連分野の事業は広範にわたっている。

特に、大阪は狭い地域に多様な生活スタイルをもった人々の暮らしが集中し、多くの選択肢の中から、生活者の主体的な選択を支援する総合的な生活提案産業の育成が求められている。この分野に携わる企業には、多様なニーズに効率的に応じることが重要となり、標準化を進めつつ、地域社会におけるさまざまな活動主体との密接な連携のもとに、ニーズを的確に把握し、柔軟に対応していくことが求められる。

## 第3章 地域産業を活用した生命・健康の維持 — 福祉・医療関連分野育成に向けて

福祉・医療関連市場の拡大や、高齢化の進展、医療保険制度の改革などの社会環境変化を背景に、この分野では民間事業者の参入が活発化している。それら民間事業者は、市場動向の把握や自社の技術・ノウハウの活用を重視しながら事業化を進めている。

2図 福祉・医療関連の事業化の際に重視した社会環境変化



特に大阪では、急速な高齢化の進展や、先端的医療技術を提供する高度医療施設の集積という地域特性を持つことから、「在宅介護サービス」「福祉機器、福祉用具・用品」「医療機器製造」「医療関連コンサルティング」が有望であり、さらにそれらを支援する「情報システム、情報提供サービス」も有望な事業分野として成長が期待される。

この分野では利用者個々の条件を考慮する必要がある商品・サービスが多いため、多様なニーズへの対応とコストダウンの両立が事業化や事業展開の鍵を握っている。また、世界的な市場拡大を視野に入れて競争力を強化し、新たな市場を創造することが大阪の顔を形成することになる。

#### 第4章 循環型地域経済の構築と産業 — 環境・エネルギー関連分野育成に向けて

大阪では個人生活と産業活動が高密度に併存していることから、育成が必要でしかも競争力を有する事業分野として、「リサイクル関連」「産業団地や地域などのゼロ・エミッション化」「エネルギー関連」が挙げられる。大阪企業は、既存事業分野に再生資源を利用したり、廃棄物を再生する事業を活発化させつつあり、その事業収益も良好とする企業が多い。

こうした有望事業をいっそう創出し、成長させていくためには、(1)環境に配慮した商品・サービスに対する需要を創出すること、(2)再生可能資源の回収システムを確立すること、(3)エネルギー需給構造の特性を把握し、地域として望ましい目標を設定すること、などが重要である。

行政部門では、環境・エネルギー関連産業育成のための組織横断的・統合的な取り組み体制を築く必要がある。企業や生活者も、地域において環境の改善や循環型経済活動の推進を担う主体として、責任ある行動と能動的な取り組みが求められる。

#### 第5章 情報力強化による地域発展 — 情報・通信関連分野育成に向けて

大阪において有望かつ対応が必須でもある事業分野として、産業活動や個人生活における「情報化関連機器・システムの導入に対する支援」、商業をはじめとする大阪産業の活性化の切り札ともなりうる

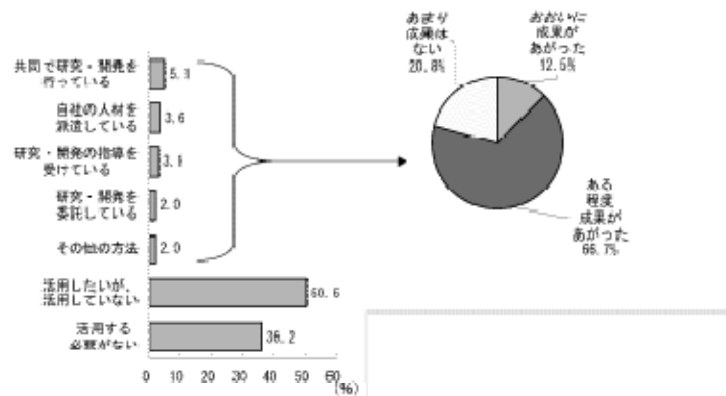
「電子商取引(EC)」、新しい大都市型産業として期待される「マルチメディア関連」が挙げられる。

それらを育成するためには、まず大阪の行政部門、企業、生活者それぞれの情報化を推進することが重要である。それが豊かな地域社会づくりの基盤になるとともに、情報・通信関連の需要創出にもつながる。また、そうした商品・サービスの供給者を地域で育成し、参入を促進することも必要である。

行政部門には、自らの情報化を推進することにより、社会的ニーズに的確、迅速に対応する体制を整

える必要もある。また、域内の企業を大学や研究機関と結びつける役割も求められる。

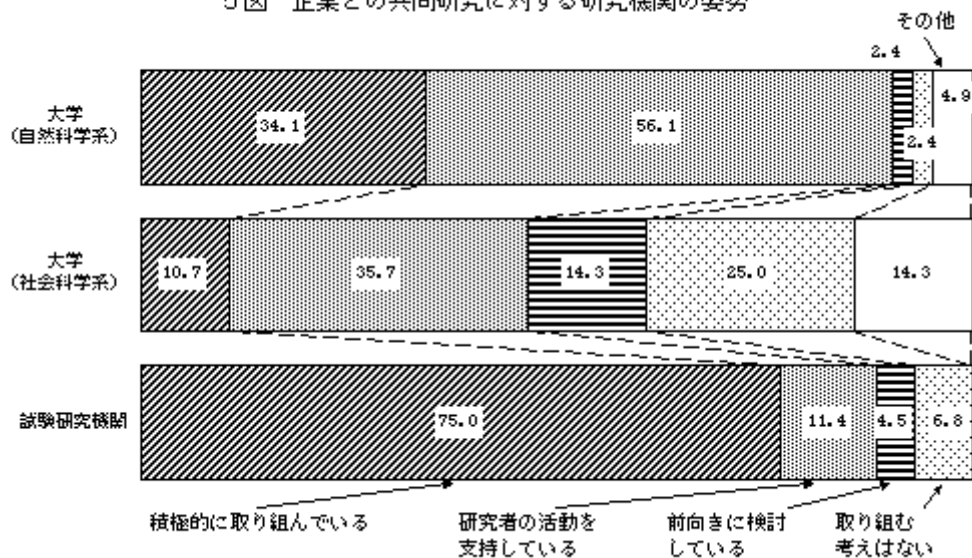
4図 情報・通信関連事業における大学・研究機関の活用状況と成果



## 第6章 新産業分野育成のための地域戦略

企業が新たに4つの分野で事業を進める際の最も大きな課題は、新しい事業を担う人材や知識を確保することである。他方、関西の大学や試験研究機関では企業との交流に積極的に取り組もうとする姿勢が強い。

5図 企業との共同研究に対する研究機関の姿勢



そこで、両者が日常的な情報交換や相互理解を進めることで、新分野を育成する有利な条件を整えることができる。

4つの産業分野は新たな社会的ニーズを充足するものであるため、それらを担う活動主体や活動の仕方は多様である。したがって、企業以外の多様な活動主体との間でも積極的な連携を図っていくこと

が重要である。

行政部門には、長期的な視点に立ち、4つの産業分野を中心に据えた地域産業の発展方向を把握、提示したうえで、発展方向に沿った自由な産業活動が可能となるように条件を整備し、従来の枠組みにとられない柔軟な対応が必要となる。

今後の大阪にふさわしい新産業分野は、豊かな地域づくりをめざすものでなくてはならない。その実現に向けて、府内居住者、府内への通勤・通学者、企業、団体を含む地域の構成員すべてが主体的かつ積極的に努力と協働を続けていくことが重要で、そのための新しい枠組みづくりが求められている。

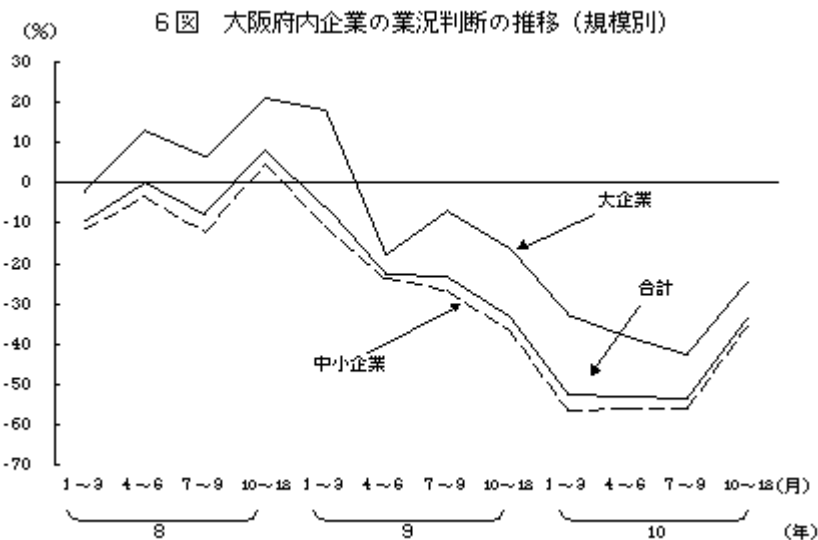
## 第2部 平成10年の大阪経済

### —悪化が続いた大阪経済—

平成10年の大阪経済は、個人消費が家計の消費マインドの冷え込みで低迷を続けたうえ、民間設備投資も企業の先行き見通し難から低調に推移するなど、民間需要が前年に引き続き不振であった。

こうした需要面の動きを受けて、生産は減少が続き、企業収益も悪化、雇用も厳しい状況で推移した。しかし、11月には緊急経済対策が打ち出され、これ以上の景気悪化に歯止めがかかる動きがみられた。

企業経営者の業況判断は期を追って悪化した。



業況判断DIのマイナス幅は、7～

9月期には調査開始以来最大のマイナス幅を示した。特に中小企業でマイナス幅が大きく、業況は厳しかった。ただ、10～12月期には、緊急経済対策に対する期待などからマイナス幅は縮小した。